

裏路地探険

平成20年、コウノトリが舞い降りたことで、注目されることになった豊岡市田結。豊かな生態系が保たれている日本でも貴重な場所として、東京大学を始めとする研究者たちが度々調査に訪れている。

津居山湾の東側、日本海に面する田結は、世帯数50戸ほどの小さな集落。高度成長期の頃までは半農半漁で生計を立て、集落の谷筋には15町歩の田畑があった。

しかし、生活様式の変化や鳥獣被害などで田んぼを作る人間がいなくなり、平成18年を最後に休耕田へと姿を変えてしまった。

ところが、豊富な湧水や鹿による表面の踏み荒らしなどは、コウノトリが好む、樹木が密集していない明るい湿地を保つことになった。湿地では、絶滅危惧種の水生植物や昆虫と出会うことができる。



元々はジル田と呼ばれる湿地であった田結の湿地。今も栄養の少ない明るい湿地が保たれている。稀少な水生植物はもちろんのこと、ホタルもゲンジ、ヘイケ、ヒメボタルと3種同時に見ることができる。



願かけ地藏として、いつの頃からか、トウガラシを供えてお参りすると、ひとつだけ願いが叶うと伝えられてきた。



高台にある鎮守の森。氏神である八坂神社(正面)は、京都の祇園社から分霊をお迎えしたものだ。元々は村の要所にあった他の4社も、現在は同じ場所に祀っている。北但大震災の追悼や成人式、防災祈願の年3回、お千度参りが行われる。



お千度参りの竹札



蚕の神様である神社には、蚕の天敵であるネズミよけのための猫石が残る。



西光寺所蔵の「春日曼荼羅」は、全国的にも珍しく、但馬唯一のもの。鎌倉時代の作で、描写は緻密。「仏様は表情豊かで人間味がある」と住職は話す。市指定文化財。

全国的にも稀少な水生植物や昆虫が息つき

コウノトリが餌をついばむ環境豊かな田結の村

お千度参りや齋衆など、古い風習が今も残る

「特に珍しいといわれたのは、オアカウキクサ。但馬型が見られるのは田結だけだそうです。トンボだけでも約40種もいるんですよ」とは、区長の島本又治さん。

コウノトリが舞い降りたことをきっかけに、地元では村総出で餌場となる湿地作りを始めた。

また、勉強会や研究者の受け入れ、学生の環境学習などを積極的に行うなど、地域活性化につなげようと村全体で盛り上げている。

昨年7月には田山川下流域が、ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)の条約湿地に登録。集落を訪れる人が増える中、女性たちによるガイド「案ガールズ」も発足した。

探検当日、案内をお願いした副区長の大島克幸さんは、「田結は昔から団結力が強い土地柄」と話す。

こだわりの蒲鉾・竹輪&揚げたての天ぶらを工場直売

春の旬を使用したオリジナル商品

豊富な種類が魅力的

おかげさまで90年

兵庫県豊岡市瀬戸757-1
TEL.0796-28-3121
*8:30~17:00 土曜定休
http://www.futakata.co.jp

城崎マリンワールド 津居山港 日本海 気比の浜 田結

豊岡市 田結 に泊まろう!

自然豊かな田結へぜひゆっくり泊まりにきてください

待ってるよ!

民宿・渡船 えの本

日本海の旬の魚貝でもてなす小さなお宿。渡船でとっておきの釣り場までご案内します!

豊岡市田結 1806
TEL.0796-28-2856

民宿 與兵衛

アットホームな民宿。新鮮な魚がたっぷり!ちょっと心が疲れたらおいしいもん食べに来てください。

豊岡市田結 1839
TEL.0796-28-2331



西光寺は高野山真言宗の寺院で、かつては背後の山中に本坊があったとされ、中世に里に降りたと伝わる。寺を中心として、集落が形成された。本堂の前には「弘法大師の足跡」の石が置かれている。

頂上は久美浜、夕日ヶ浦まで望める

大正6年に開設された八十八ヶ所巡りは、88体の石仏を巡るハイキングコース。石仏は青年団が一体ずつ背負って運んだもの。

トウガラシ地藏

中腹展望台からは気比の浜が一望

田結研修集会所

六地藏と震災記念碑

オの神

かつてはここまで海だった。家から釣りができたそう。

田結の大島

地元の女性たち15名が所属するガイドグループ「案ガールズ」。ガイド料：1人500円(マップ付)。(申込)豊岡市コウノトリ共生課 0796-21-9017



細い路地が入り組む田結のまち並み。海沿いの町特有の焼き板塀の家が軒を並べている。



風谷古墳の天井の1枚岩の巨石。海と関わりの深かった豪族の墓とみられている。

6世紀末頃～7世紀初頭に築造されたとされる風谷古墳

共同井戸

八十八ヶ所巡り(大師道)登り口

小井戸浜古墳



昔から名産であった「神水わかめ」。肉厚で、味と香りがよいと重宝されている。毎年、5月下旬には「わかめ祭り」が催される。



田結のシンボルである大島。かつては海面にあった。



●「裏路地探険」参加募集

平成25年4月13日(土)
10:00～12:00

「新温泉町海上を歩く」
新温泉町海上(うみがみ)

* 実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキで申し込みください。開催は午前中、現地集合・現地解散となります。申込締切日後、案内を参加ご希望の方へ送付致します。

集落には寺院が1つしかないこともあり、宗教的な結びつきで団結が保たれてきたという。今でも葬式の際には齋衆と呼ばれる人々によって取り仕切られ、地区で葬儀を行う「外吊い」の慣習が残っている。

また、高台にある八坂神社では、年に3度、本殿の周囲を回りながら、千本の竹札を奉納する「お千度参り」が行われる。身内の大病や手術などでは、その都度、回復を願ってお千度さんをするそう。

さらに、大正14年の北但大震災でも団結を示すエピソードが残されている。全83戸中82戸が倒壊する被害を受けた震源地の田結。それに先立つ明治24年、大火に見舞われたこともあり、住民は救助より、養蚕で使用していた焔炉の火を消して回った。他地区が火災で多くの死者を出す中、7名の圧死者を出すにとどまったという。

今でも田結は防災の意識が高く、共同井戸や火の見やぐらは現役で使われているそう。

「コウノトリが選んだ村」として、新たな交流が生まれた田結。研究者は「村総出で出迎えてくれることがうれしい」と話すそう。まさに「田」が「結」んだ緑をコウノトリが運んできたのかもしれない。



資産運用

お気軽にご相談ください

但馬銀行
TAJIMA BANK

朝来市 竹田城跡